

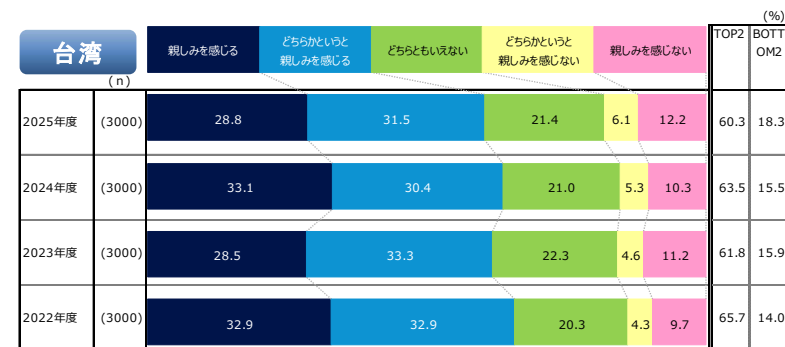
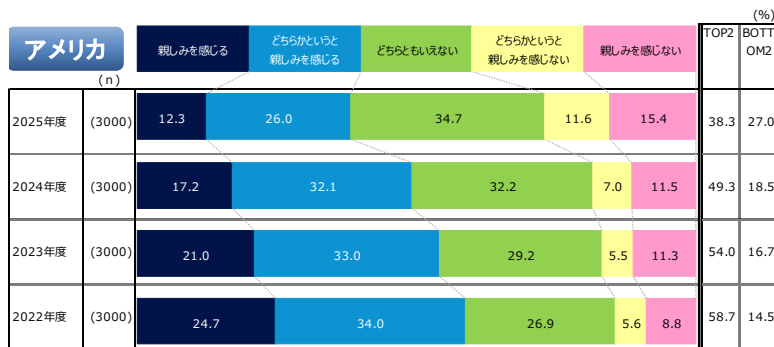
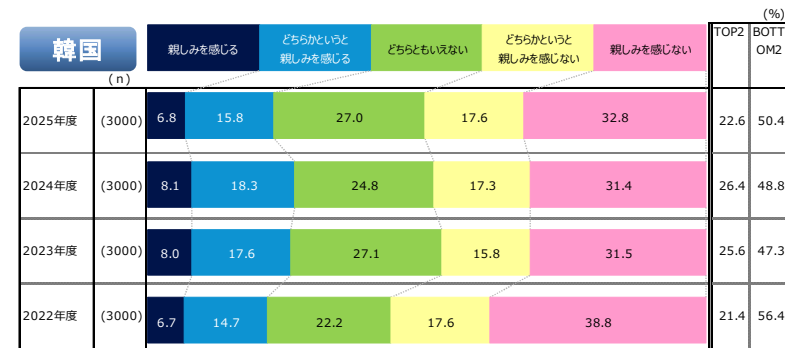
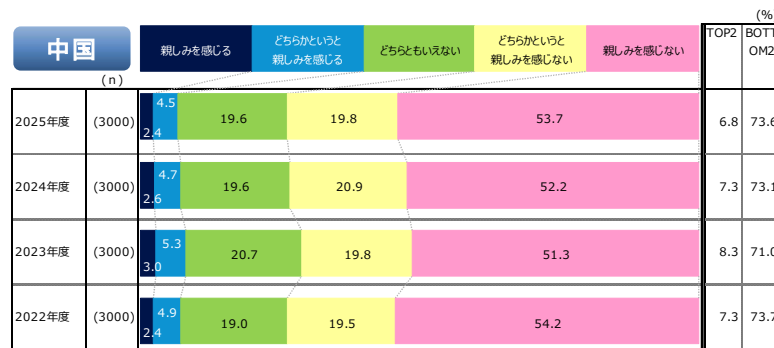
III.調査結果（経年比較）

<経年比較> 親近感

Q1.以下の国／地域に対する親近感について、それぞれ教えてください。【SA】

2022年度～2025年度の調査結果比較

- ・ TOP2（親しみを感じる+どちらかというと親しみを感じる）の割合については、2024年から2025年はどの国/地域も減少している。特にアメリカは2022年から4年間（58.7%⇒54.0%⇒49.3%⇒38.3%）と減少傾向にあり、他の国/地域と比べて変化が大きい。
- ・ BOTTOM2（親しみを感じない+どちらかというと親しみを感じない）の割合については、2024年から2025年はどの国/地域も増加している。特にアメリカは2023年から4年間（14.5%⇒16.7%⇒18.5%⇒27.0%）は増加傾向にあり、他の国/地域と比べて変化が大きい。

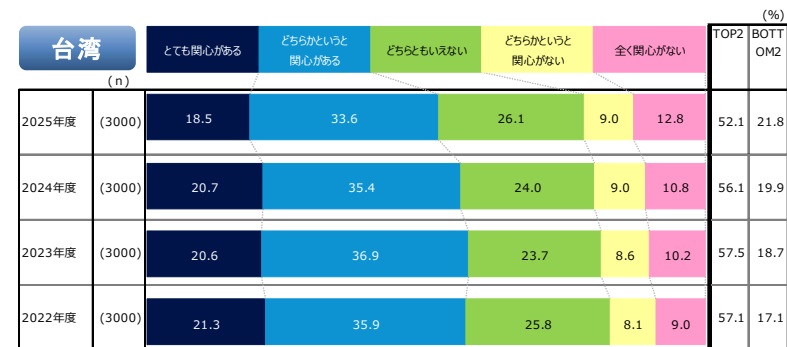
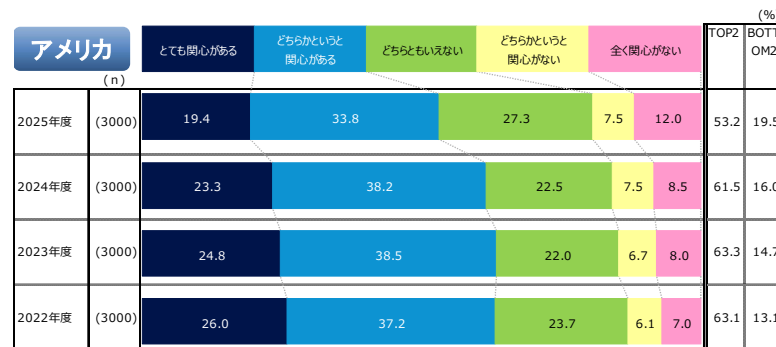
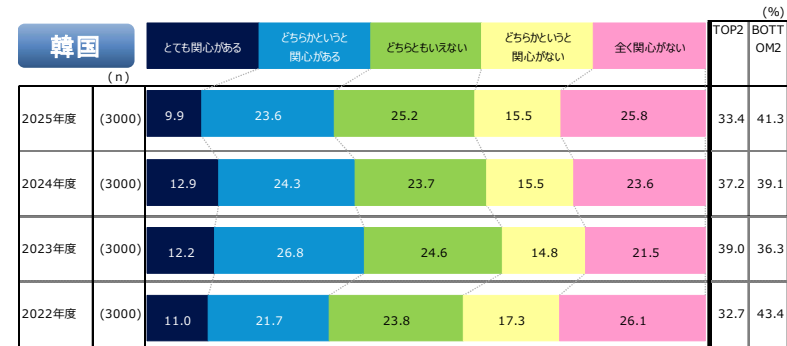
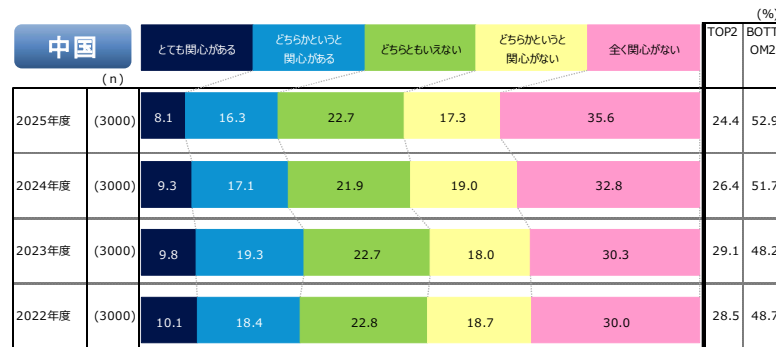


＜経年比較＞ 関心度

Q2.以下の国／地域に対する関心について、それぞれ教えてください。【SA】

2022年度～2025年度の調査結果比較

- ・ TOP2（とても関心がある+どちらかというに関心がある）の割合について、2024年から2025年はどの国/地域も減少している。特にアメリカは（61.5%⇒53.2%）と他の国/地域と比べて変化が大きい。
- ・ BOTTOM2（全く関心がない+どちらかというに関心がない）の割合について、2024年から2025年はどの国/地域も増加している。アメリカは特に「全く関心がない」で（8.9%⇒12.0%）関心度の低下が顕著であった。



＜経年比較＞ 日中関係

Q3. 日本と中国の関係についてのみお伺いします。現在の日中関係についてあなたの考えに近い回答を1つ、お選びください。【SA】

Q4. Q3で「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思う」「あまり良好だと思わない」「良好だと思わない」と回答された方にお伺いします。そう判断したもっとも大きな要因は何ですか。以下から1つお選びください。

2022年度～2025年度の調査結果比較

- ・ TOP2（良好だと思う+どちらかといえば良好だと思う）の割合は昨年度は3.4%から3.3%と減少したが、今年度は3.3%から4.1%へ増加している。
- ・ 「わからない」の割合は、7.4%⇒7.0%⇒6.8%⇒4.6%と減少傾向にある。

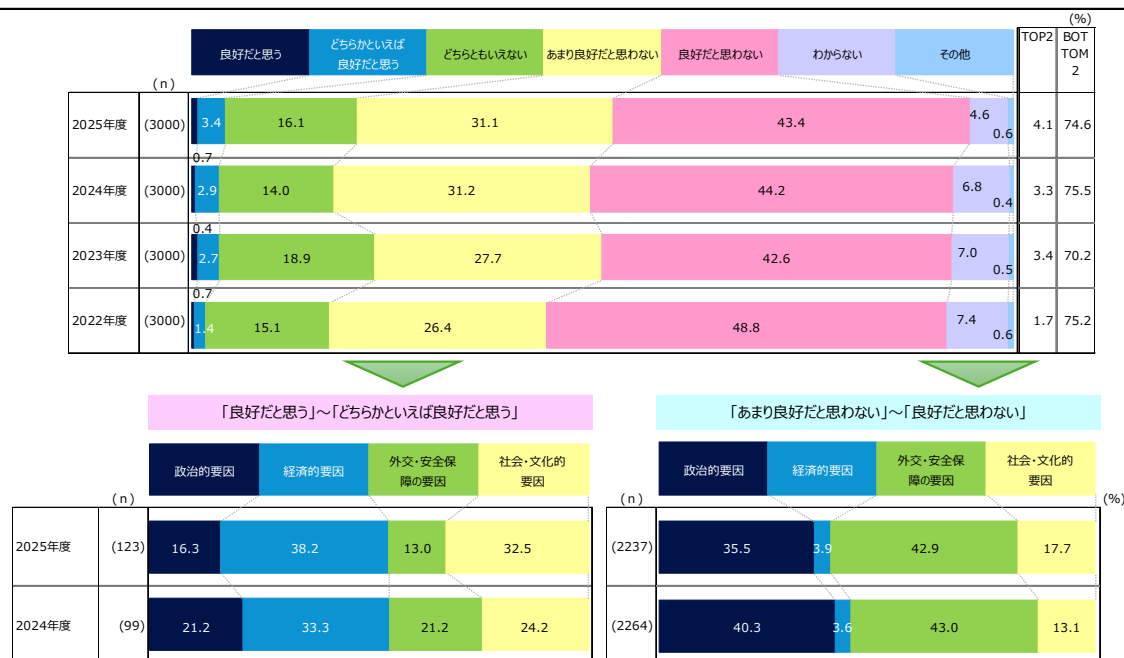
2024年度～2025年度の調査結果比較

「良好だと思う」～「どちらかといえば良好だと思う」理由

- ・ 「社会・文化的要因」の割合は、今年度は24.2%から32.5%へ増加している。「政治的要因」「外交・安全保障の要因」の割合は減少している。

「あまり良好だと思わない」～「良好だと思わない」理由

- ・ 「社会・文化的要因」の割合は今年度は13.1%から17.1%へ増加している。「政治的要因」の割合は今年度は40.3%から35.5%へ減少している。



＜経年比較＞ 日韓関係

Q5. 日本と韓国との関係についてのみお伺いします。現在の日韓関係についてあなたの考えに近い回答を1つ、お選びください。【SA】

Q6. Q5で「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思う」「あまり良好だと思わない」「良好だと思わない」と回答された方にお伺いします。そう判断したもっとも大きな要因は何ですか。以下から1つお選びください。

2024年度～2025年度の調査結果比較

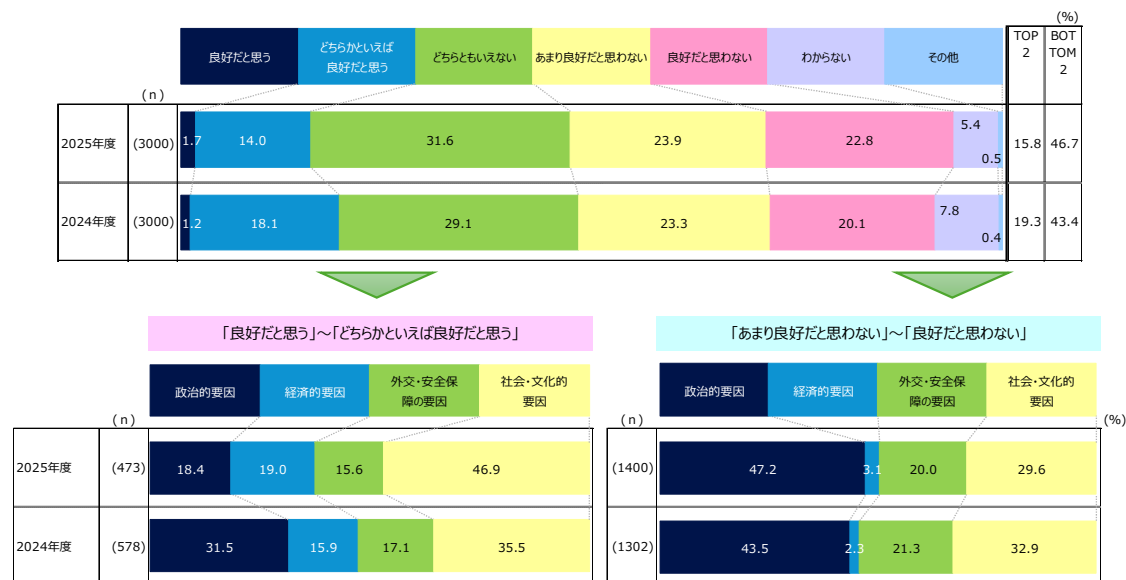
- ・ TOP2（良好だと思う+どちらかといえば良好だと思う）の割合は19.3%から15.8%と減少している。
- ・ 「わからない」の割合は、7.8%から5.4%と減少傾向にある。

「良好だと思う」～「どちらかといえば良好だと思う」理由

- ・ 「政治的要因」の割合は、今年度は31.5%から18.4%へ減少している。「社会・文化的要因」の割合は35.5%から46.9%へ増加している。

「あまり良好だと思わない」～「良好だと思わない」理由

- ・ 「政治的要因」の割合は、今年度は43.5%から47.2%へ増加している。「社会・文化的要因」の割合は32.9%から29.6%へ減少している。



＜経年比較＞ 日米関係

Q7. 日本とアメリカの関係についてのお伺いします。現在の日米関係についてあなたの考えに近い回答を1つ、お選びください。【SA】

Q8. Q7で「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思う」「あまり良好だと思わない」「良好だと思わない」と回答された方にお伺いします。そう判断したもっとも大きな要因は何ですか。以下から1つお選びください。

2024年度～2025年度の調査結果比較

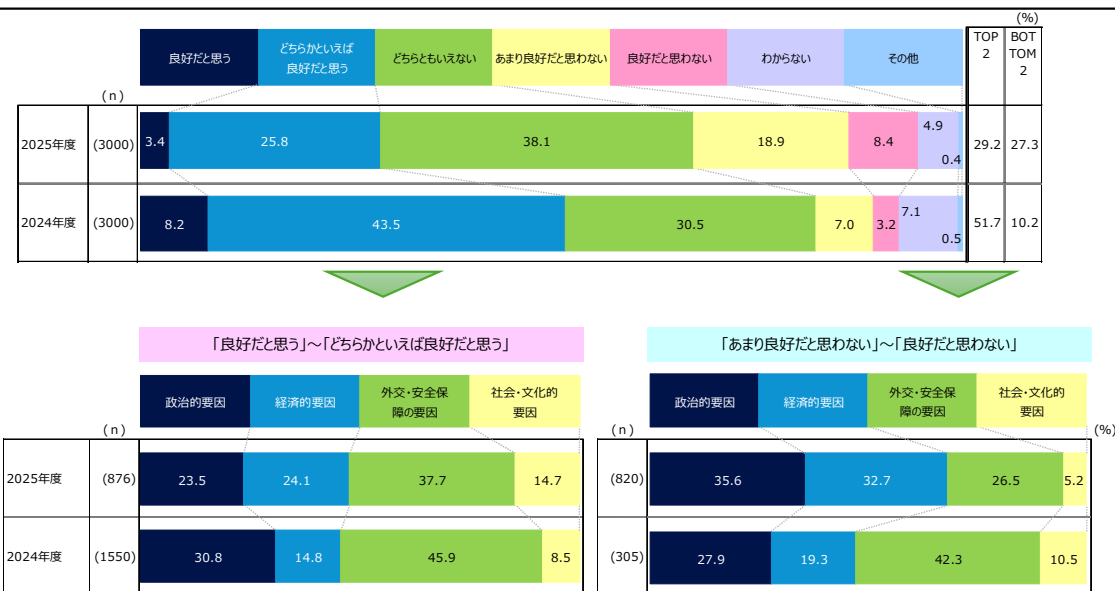
・ TOP2（良好だと思う+どちらかといえば良好だと思う）の割合は今年度は51.7%から29.2%と大きく減少した。 BOTTOM2（良好だと思わない+あまり良好だと思わない）の割合は10.2%から27.3%と大きく増加した。

「良好だと思う」～「どちらかといえば良好だと思う」理由

・ 「政治的要因」の割合は今年度は30.8%から23.5%、「経済的要因」の割合は14.8%から24.1%へ増加している。「外交・安全保障の要因」の割合は45.9%から37.7%へ減少している。

「あまり良好だと思わない」～「良好だと思わない」理由

・ 「政治的要因」の割合は今年度は27.9%から35.6%、「経済的要因」の割合は19.3%から32.7%へ増加している。「外交・安全保障の要因」の割合は42.3%から26.5%へ減少している。



＜経年比較＞ 日台関係

Q9. 日本と台湾の関係についてのみお伺いします。現在の日台関係についてあなたの考えに近い回答を1つ、お選びください。【SA】

Q10. Q9で「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思う」「あまり良好だと思わない」「良好だと思わない」と回答された方にお伺いします。そう判断したもっとも大きな要因は何ですか。以下から1つお選びください。

2024年度～2025年度の調査結果比較

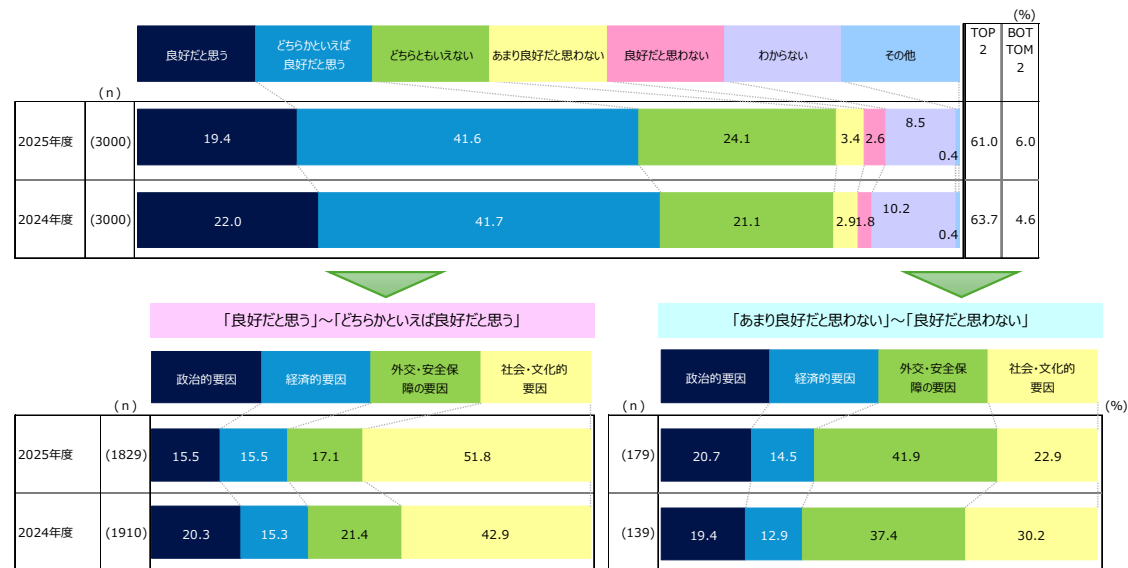
- ・ TOP2（良好だと思う+どちらかといえば良好だと思う）の割合は今年度は63.7%から61.0%と減少した。BOTTOM2（良好だと思わない+あまり良好だと思わない）の割合は4.6%から6.0%とわずかに増加した。

「良好だと思う」～「どちらかといえば良好だと思う」理由

- ・ 「政治的要因」の割合は今年度は20.3%から15.5%、「外交・安全保障の要因」の割合は21.4%から17.1%へ減少している。「社会・文化的要因」の割合は42.9%から51.8%へ増加している。

「あまり良好だと思わない」～「良好だと思わない」理由

- ・ 「社会・文化的要因」の割合は今年度は30.2%から22.9%へ減少している。「外交・安全保障の要因」の割合は37.4%から41.9%へ増加している。



＜経年比較＞ 渡航目的

Q11.以下の国／地域を訪問したことがありますか。渡航目的を教えてください。【MA】

2022年度、2025年度の調査結果比較

- ・ 中国について、「渡航したことはない」の割合は今年度78.6%から81.7%へ増加している。
- ・ アメリカについて、「観光旅行」の割合は今年度37.8%から31.4%へ減少している。「渡航したことはない」の割合は56.4%から63.1%へ増加している。

		(%)						
		(n)	観光旅行	留学	出張	就労	親族・友人を訪ねて	その他
		(n)						訪問したことはない
2025年度	(3000)	13.1	0.9	5.6	0.7	0.8	0.2	81.7
2022年度	(3000)	14.8	0.4	6.5	0.9	1.1	0.4	78.6

		(%)						
		(n)	観光旅行	留学	出張	就労	親族・友人を訪ねて	その他
		(n)						訪問したことはない
2025年度	(3000)	24.4	0.8	3.9	0.7	0.7	0.4	71.5
2022年度	(3000)	25.4	0.6	4.3	0.4	1.0	0.5	70.0

		(%)						
		(n)	観光旅行	留学	出張	就労	親族・友人を訪ねて	その他
		(n)						訪問したことはない
2025年度	(3000)	31.4	2.8	5.8	0.9	2.2	0.3	63.1
2022年度	(3000)	37.8	3.2	6.9	1.2	3.1	0.6	56.4

		(%)						
		(n)	観光旅行	留学	出張	就労	親族・友人を訪ねて	その他
		(n)						訪問したことはない
2025年度	(3000)	20.8	0.5	3.5	0.7	0.8	0.3	75.7
2022年度	(3000)	21.8	0.4	3.5	0.5	1.1	0.3	74.7

<経年比較> 友人・知人

Q11.以下の国／地域を訪問したことがありますか。渡航目的を教えてください。【MA】

(%)

		親友と呼べる人がいる	親友とはいえないが、友人がいる	知人がいる	その他	いない
	(n)					
2025年度	(3000)	1.6	2.9	8.3		87.6
2022年度	(3000)	1.2	2.6	5.4	0.4	90.5

(%)

		親友と呼べる人がいる	親友とはいえないが、友人がいる	知人がいる	その他	いない
	(n)					
2025年度	(3000)	2.0	2.4	6.7		89.5
2022年度	(3000)	0.9	2.5	5.5	0.2	91.0

(%)

		親友と呼べる人がいる	親友とはいえないが、友人がいる	知人がいる	その他	いない
	(n)					
2025年度	(3000)	2.1	3.6	7.1		87.7
2022年度	(3000)	2.6	4.4	8.5	1.0	84.6

(%)

		親友と呼べる人がいる	親友とはいえないが、友人がいる	知人がいる	その他	いない
	(n)					
2025年度	(3000)	1.3	2.3	4.7		91.9
2022年度	(3000)	1.0	2.6	5.2	0.1	91.4

※選択肢の変更：

2022年度 「親友と呼べる人がいる」「親友とはいえないが、友人がいる」「知人がいる」「その他」「いない」

2025年度 「親友と呼べる人がいる」「親友とはいえないが、友人がいる」「知人がいる」「いない」

2025年度は選択肢「その他」を削除

＜経年比較＞中国との付き合い方

Q17. 今後中国と付き合いにあたって、日本はどうしたらよいと思いますか。以下の文言で、ご自身の判断に最も近いものを1つ選んで回答してください。【SA】

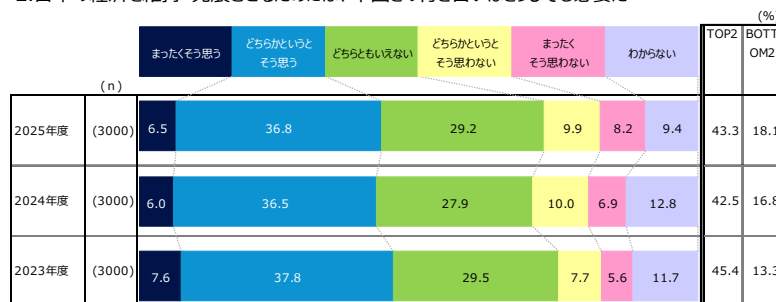
2023年度～2025年度の調査結果比較

- ・「1. 様々なリスクを考え、中国との付き合いは最低限にしておく必要がある」について、TOP2（まったくそう思う+どちらかというと思う）の割合は（39.7%⇒43.8%⇒44.3%）増加傾向にある。
- ・「2. 日本の経済を維持・発展させるためには、中国との付き合いはどうしても必要だ」について、TOP2（まったくそう思う+どちらかというと思う）の割合は、昨年度は45.4%から42.5%へ減少したが、今年度は43.3%へ増加に転じた。BOTTOM2（まったくそう思わない+どちらかというと思わない）の割合は（13.3%⇒16.8%⇒18.1%）へ増加傾向にある。
- ・「3. 平和を維持するために、日本政府は中国政府とより緊密な関係を結ぶ必要がある」について、BOTTOM2（まったくそう思わない+どちらかというと思わない）の割合は、昨年度は16.2%から19.8%へ増加したが、今年度は19.0%と若干減少している。
- ・「4. 中国は軍備を増強しているため、日本はこれに対抗しないといけない」について、TOP2（まったくそう思う+どちらかというと思う）の割合は（30.3%⇒33.1%⇒34.0%）へ増加傾向にある。

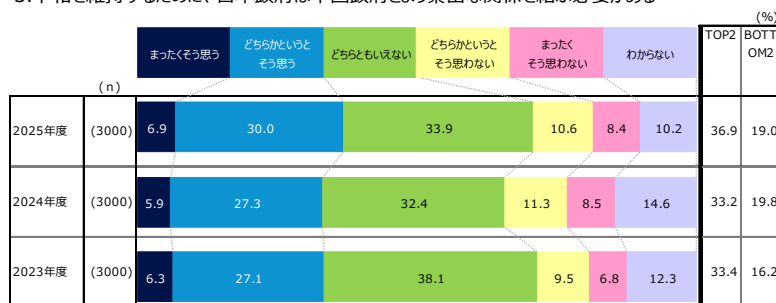
1. 様々なリスクを考え、中国との付き合いは最低限にしておく必要がある



2. 日本の経済を維持・発展させるためには、中国との付き合いはどうしても必要だ



3. 平和を維持するために、日本政府は中国政府とより緊密な関係を結ぶ必要がある



4. 中国は軍備を増強しているため、日本はこれに対抗しないといけない

